

地域住宅計画の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した地域住宅計画	
①計画の名称	岩沼地域
②都道府県名	宮城県
③計画作成主体	岩沼市
④計画期間	平成18年度～平成22年度
⑤計画目標	「量から質への転換、既存ストックの有効活用、高齢化社会への対応を念頭に、豊で快適な住環境の構築を目指す」 「近い将来高い確率で起こると想定される宮城県沖地震に備え、安全な住まいづくりを推進する」
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	岩沼市において評価を行い確定(平成23年4月)
⑦事後評価の結果	<p>指 標 ①:「市営住宅断熱性向上戸数の割合」</p> <p>定 義:断熱性能が向上した市営住宅の割合</p> <p>評 価 方 法:目標値と実績値との数値判断</p> <p>結 果:従前値:25%(H18年度)⇒目標値:65%(H22年度)⇒実施値:75%(H22年度)</p> <p>結果の分析:計画どおり事業を実施した結果、目標を達成することが出来た。</p> <p>今後も継続して、外壁断熱化工事を実施し、市営住宅の居住性向上を図りたい。</p> <p>指 標 ②:「耐震性能が確保された戸建木造住宅の割合」</p> <p>定 義:市内戸建木造住宅のうち大地震時の安全性が確保されている住宅の割合</p> <p>評 価 方 法:住宅・土地統計調査等の資料を用いた調査</p> <p>結 果:従前値:59%(H18年度)⇒目標値:69%(H22年度)⇒実施値:64%(H22年度)</p> <p>結果の分析:目標を達成できなかった。</p> <p>目標値を下回った要因について、下記の2点が挙げられる。</p> <p>①耐震改修に要する費用が高額であること。</p> <p>②耐震改修を行おうとする場合、住宅のリフォームと併せて改修を考えるケースが多く、耐震改修単独での工事を敬遠する傾向が見られること。</p>
⑧結果の公表方法	インターネット(岩沼市ホームページ)にて公表を行うこととする。
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅政策の取組への反映等	
⑨今後の住宅政策の取組への反映	「市営住宅断熱性能向上戸数の割合」については、平成23年度から策定する宮城県地域住宅計画(第Ⅱ期)においても目標に掲げ、継続し事業を実施し、市営住宅の居住性向上を図っていく。また、今後も、民間木造住宅等についても耐震化率の向上を図っていく。
⑩その他	特になし

※この事後評価は地域住宅計画について行ったものである。